

幼稚部 まめまき



いわしと豆まきの豆の買い物へ 商店街に、イワシと豆まきの豆を買いにいきました。白いトレーのイワシを見て「イワシが並んでる」などと話していました。

ヒイラギ 買い物の後に学校の裏庭にあるヒイラギの枝を一人一本ずつ切りました。切り取った葉を触って、鋭い葉先に「痛い!!」「痛いから、怖い!」などというやり取りも見られました。

やいかがし作り 材料が揃ったので鬼の嫌いな「やいかがし」を作りました。各教室でイワシをホットプレートで焼くと、子どもたちはその臭いに「臭い臭い」と言ったり鼻をつまんだりしていました。焼いたイワシとヒイラギを合わせ「やいかがし」が完成すると、鬼が入ってきそうなドアや窓の近くなどに貼り付けていました。

豆まき当日 2階の外階段につながるドアから、太鼓の音とともに赤と緑の鬼が入ってきました。鬼が勢いよく教室に来ると、子どもたちは「鬼は外」と言いながら力いっぱい豆を投げたり、後ずさりしたり、涙目になったりと反応は様々でした。

福の神からの贈り物 午後の遊びのあと、教室へ戻ると、床に花びらがたくさん落ちていました。花びらをたどっていくと、升の中に福豆が……。豆の袋には「福の神より」と書いてありました。どうやら、福の神が置いて行ってくれたようでした。

